

窪小学校 学校だより



大地

令和6年3月号

校長 指崎 邦久

先日、県内の白鳥の北帰行が始まったという報道に触れました。学校では、晴れた日の朝に、花壇の草を取る子供の姿を目にします。玄関横のパンジーもきれいな色の花を広げ、春の訪れが近いことを実感しています。子供たちは、卒業や進級へ向けてこれまでの学習をまとめています。真剣な眼差しで話を聞く表情や、静かに考えを巡らせる様子から学びに向かう態度が育っていると感じています。

白鳥は、水に浮かんでいるときは、水面下で一生懸命に足を動かしています。北帰行では、リーダーを中心に隊列を組み、空気の抵抗を減らしながらシベリアまでの4,000 kmを旅します。きっと、この1年間の子供たちも、白鳥と同じように目には見えないところでがんばったことと思います。また、いろいろな人との関わりが成長の支えになったとも思っています。子供たちには、今年のがんばりを胸に刻んで、来年度もそれぞれの環境で力強く羽ばたいてもらいたいと思っています。

生き生き窪っ子 いろいろな場面で生き生きと活動する様子を紹介します

なわとび集会

2月14日（水）に、なわとび集会を行いました。子供たちは、当日までに、体育の授業や休み時間を使って練習してきました。集会では、決まった時間内に大縄を跳べた回数を、クラスごとに記録しました。

低学年は先生が大縄を回しました。何回かは引っかけりましたが、誰一人くじけることなく、上手に自分のタイミングで縄に入って跳んでいました。中学年からは、自分たちで縄を回していました。思ったように回せるようにしようと、縄の長さを調節していました。縄を軽やかに跳び、うまく抜けていました。高学年は、すごい速さで大縄を回して次々と跳んでいました。さすがでした。

集会後のインタビューでは、大勢の人の前で堂々と考えを話せた子供が何人もいました。6年生の姿に感心する感想も聞かれ、上級生の姿が下級生の目標になっていくことを改めて感じました。

練習を始めたころには、大縄が苦手と感じる子供もいたようでしたが、体育館には笑顔があふれていました。苦手な子供自身の頑張りはもちろん、その頑張りを支えた友達との関わりや大人の指導等、いろいろな要素が相まって楽しい集会になりました。



キャリア教育講演会

2月20日には4・5・6年生、22日には5・6年生を対象にキャリア教育講演会を行いました。講演会では、夢に向かうことの大切さや災害時に自分を守る方法等について話してもらいました。

成功することを強く信じてきたから夢がかなったと、自身のエベレスト登頂の経験を交えながら話してくださいました。また、災害が起こったときには、自助・共助・公助が必要であるが、共助のためには地域の人と普段から挨拶を交わしてどのような人が住んでいるかを知ることが大切であると教えてもらいました。

この講演を通して、「夢はかなう」「自分がすべきことを普段からしっかりとする」という大切なことを学んだようでした。



卒業を祝う会

3月4日（月）に卒業を祝う会を行いました。これまで学校のリーダーとして、下級生を優しく教え、導いてくれた6年生への感謝の気持ちをみんなで表しました。

集会は、5年生が計画を立て、準備をしてきました。どの学年も、心のこもった言葉や演奏等を明るい表情で発表していました。

6年生は受け取ったプレゼントを友達とうれしそうに見せ合っていました。丁寧に字が書かれていると感心する姿や下級生の発表を見守る温かい表情から、人のがんばりを理解できる心の豊かさを感じました。

委員会や集団登校、縦割り清掃の引継ぎも行われました。金色の鍵、金色のほうき、金色の横断旗が6年生から5年生に手渡されました。受け取った5年生の表情から、これから自分たちが最高学年になっていくという自覚が感じられました。窪っ子のよい伝統が受け継がれています。

この集会では、子供たちの優しさだけでなく、いろいろな成長をみることができました。これまで、子供たちを支えてくださったご家庭のご理解とご協力のおかげです。

ありがとうございました。



ありがとうございました

3月3日（日）に行いました資源回収に際しまして、ご協力をいただきありがとうございました。育友会役員の皆様には、雪が降る天候にもかかわらず回収してくださいました。重ねてお礼申し上げます。